



2021年度長野県休眠預金等
活用コンソーシアム事業

バイオ炭による付加価値の創造

バイオ炭活用による三方よし（生産者・消費者・地域）プロジェクト概要

【コンソーシアム参加団体】

JA長野中央会

JA長野県女性協議会

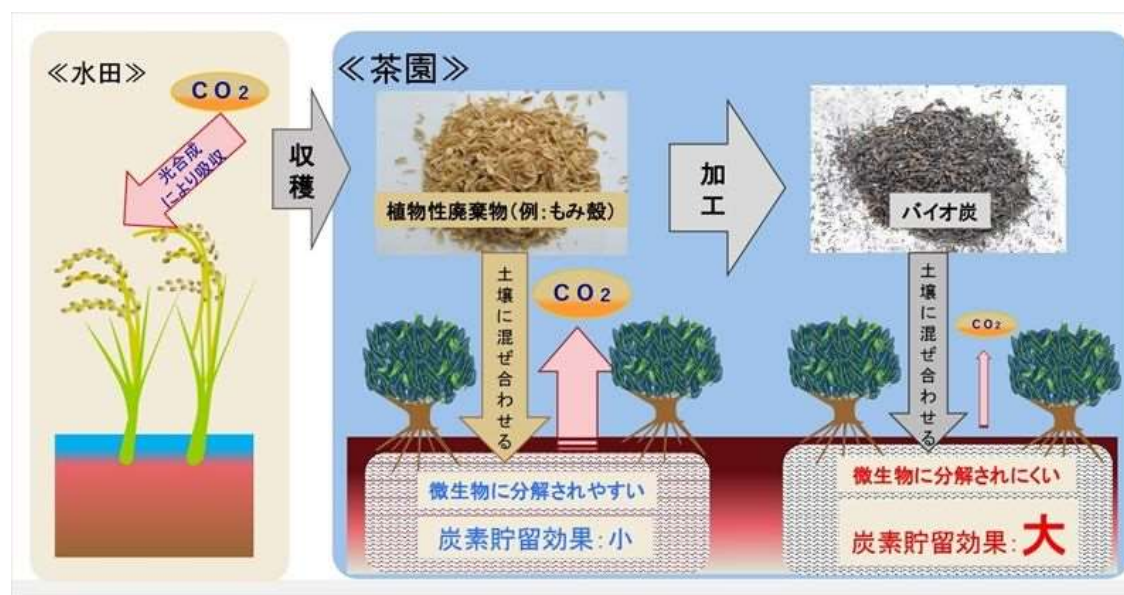
JA長野県青年部協議会

長野県生協連

(一社)日本クルベジ協会

バイオ炭とは

- ・バイオ炭は、「燃焼しない水準に管理された酸素濃度の下、350°C超の温度でバイオマス(木や竹、もみ殻などの生物由来資源)を加熱して作られる固形物」と定義されています。
- ・バイオ炭の原料となる木材や竹等に含まれる炭素は、そのままにしておくと微生物の活動等により分解され、二酸化炭素として大気中に放出されてしまいます。しかし、木材や竹などを炭化し、バイオ炭として土壤に施用することで、その炭素を土壤に閉じ込め(いわゆる「炭素貯留」)、大気中への放出を減らすことが可能になります。

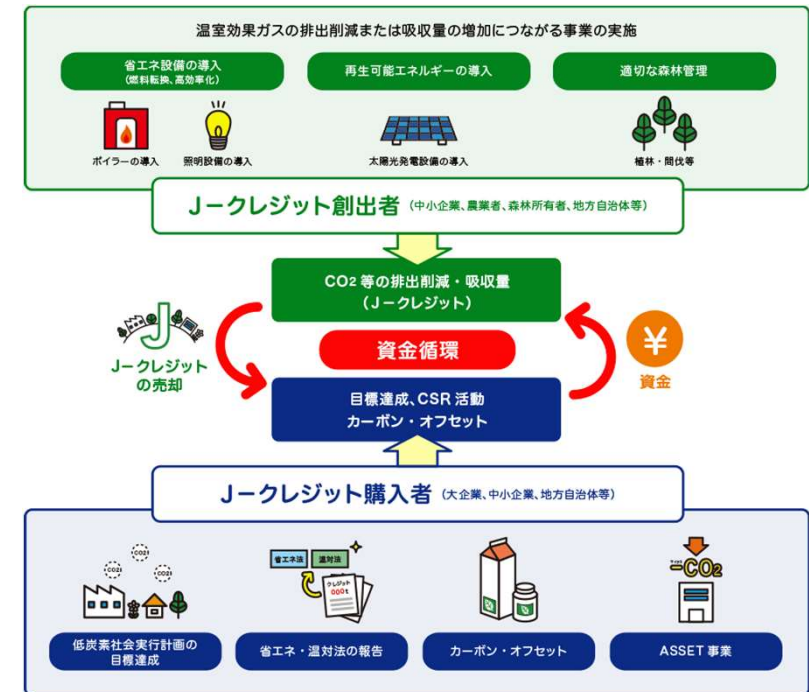


「中部電力×JA遠州夢咲」の取組例より

J-クレジット制度(経済産業省HPより)

・農地へのバイオ炭の施用は、2019年度より国際的な排出・吸収量報告(温室効果ガスインベントリ報告)における温室効果ガスを吸収する取組の1項目として認められました。

・日本クルベジ協会では、農地へのバイオ炭の施用実績を取りまとめ、売買可能な「J-クレジット」として2022年より取組みを始めています。



・バイオ炭の農地への施用は、土壌の透水性、保水性、通気性の改善などの効果があるといわれています。

・また、地力増進法(昭和59年法第34号)の政令で、木炭は土壌改良資材に指定されています。





(JA上伊那 もみ殻炭化器)



(剪定枝炭化 モキ製作所HPより)



(JA中野市 廃培地炭化器)

バイオ炭製造

- JA上伊那(もみ殻:中部営農センター)
- (社福)くりのみ園(もみ殻:長野市)

* JA中野市の炭化廃培地、JAあづみ(剪定枝炭化) 他
バイオ炭提供について検討中



施用・「J-クレジット」対応支援
(一社)日本クルベジ協会

バイオ炭使用者(農産物生産)

- **JA青年部協議会、JA女性協議会**及び
バイオ炭使用に興味のある農業者
- (社福)くりのみ園、
- 高遠藤沢里山再生協議会 等



農産物PR及び販売・飲食店活用

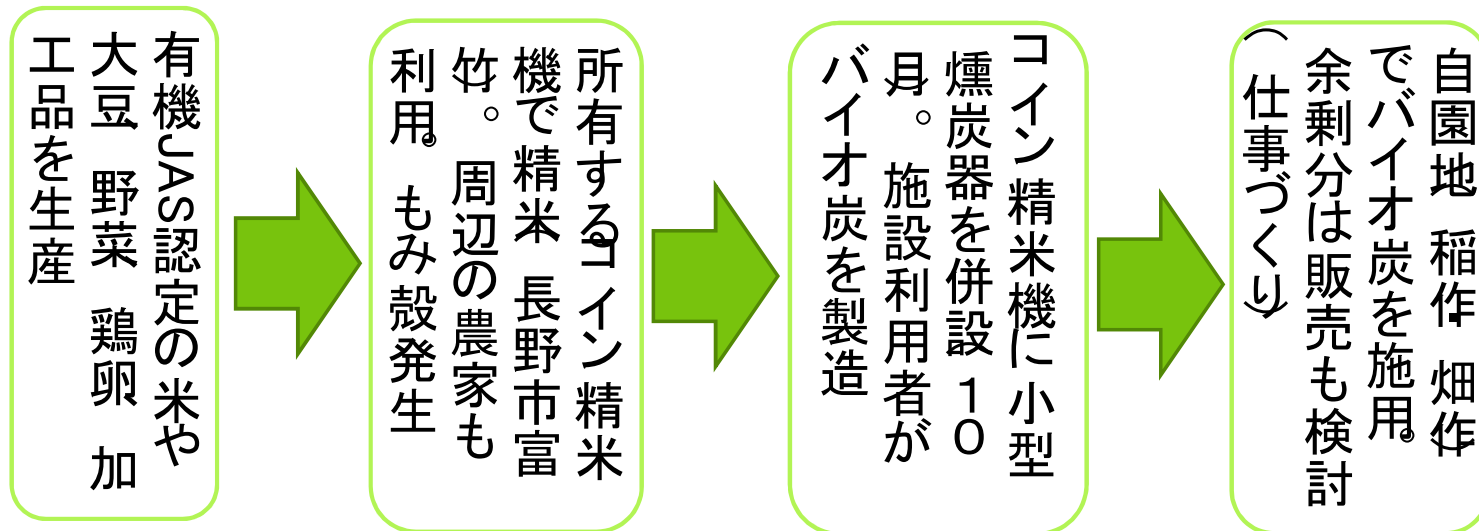
- 直売所、JAによる販売・PR
- 飲食店による食材消費
- **JA女性協議会、長野県生協連**による消費協力

期 間	2022年9月～2025年3月
場 所	長野県内
取組概要	「2021年度長野県休眠預金等活用コンソーシアム事業」を活用。 農業分野での地球温暖化対策を「バイオ炭」を活用して、生産者・消費者・地域が一体となって環境に配慮した持続可能な農業を目指すプロジェクト。
取組のメリット	・地域の農業残渣からバイオ炭を製造し、農地に貯炭をおこない(地産地活)、その農地から再び農産物が生産され、消費に結び付き(地産地消)、持続可能な循環型農業が実現される。 ・将来的に「J-クレジット」対応可能。
取組計画	(1年目)各団体及びバイオ炭に興味のある農業者へバイオ炭を配布し、農地への施用・農産物生産を行う。 (2～3年目)農作業体験イベント等におけるバイオ炭製造・施用、農業者への配布等により、バイオ炭の認知度を高める。また、バイオ炭施用農産物のブランド化を目指し、直売所等で販売する。それにより、地域住民・消費者の循環型農業・環境保全型農業への理解を広めます。

	役 割
JA長野中央会	全体統括・調整、バイオ炭普及に向けた販売促進・PR活動 等
JA長野県女性協議会	残渣の燻炭化・活用促進、バイオ炭活用農産物栽培・出荷 等
JA長野県青年部協議会	
長野県生協連	バイオ炭・農業分野の地球温暖化対策に関する意識調査への協力、 バイオ炭農産物消費拡大協力 等
(一社)日本クルベジ協会	バイオ炭使用に関するセミナー・講習会開催支援、 J-クレジット参加に向けたコンサル 等

	2022年度				
	8月	9月	10月	11月	12～3月
JA上伊那管内	・使用者の選定	・炭の分析 ・もみ殻燻炭の配布		・土壌分析 ・炭の使用	
JAあづみ管内	・JAや部会員への説明、使用状況の把握				・剪定枝の炭化、分析 ・土壌分析 ・炭の使用
女性部、青年部、生協連(消費者、生産者)		・アンケート調査の実施	・炭使用量の取りまとめ	・炭の使用	・使用報告書の提出 ・バイオ炭製造講習会
日本クルベジ協会	・PJ打ち合わせ(バイオ炭使用、農産物ブランド化のアドバイス、啓蒙活動の講師依頼)	・バイオ炭製造、施用支援(随時)			・講演会の講師対応
(社福)くりのみ園 高遠町藤沢里山再生協議会		・趣旨説明、協力依頼 ・炭化炉設置		・竹炭製造等の実験 ・もみ殻燻炭製造	・使用報告書の提出
中央会・地域開発機構	・実証実験開始準備 ・協力団体の検討	・キックオフミーティングの開催 ・実証実験参加者の取りまとめ	・バイオ炭使用調査票の作成	・現場支援	・炭の使用状況の確認 ・パンフレットの作成・配布、講演会の開催 ・R4年度報告会(3月)

1. 社会福祉法人くりのみ園



①



②



③



④



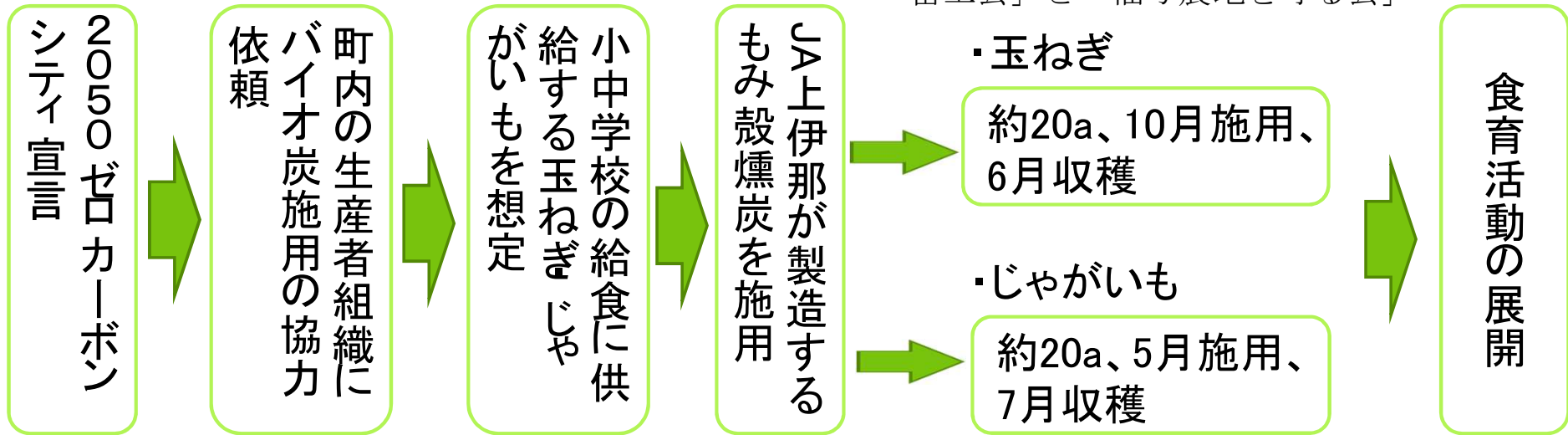
①: パイプハウス建設の様子

②: 軽トラに積んだフレコンから紫のホースコンベアを使い、もみ殻を炭化装置に投入

③: もみ殻投入口と炭化装置

④: 炭の排出口

2. 箕輪町



3. 伊那市

農事組合法人南福地ファームで施用(小麦282.5a、大麦16.8a)

